

2018年7月1日

西宮YMCA保育園 7月えんだより

年主題 『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

年主題聖句 「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、
わたしたちも互いに愛し合うべきです。」
＜ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節＞

ゆり組のお友だちが中心となって、保育園ではたくさんのいのちを育てています。普段、街中では意識しませんが、日に日に大きくなっていく植物の生長に驚きを感じる、自然の力強さを感じる季節になりました。子どもたちの日々の生活も、声のトーン、立ち振る舞い、ちょっとした所作の中に4月とは違う落ち着きや成長を感じるように変化を感じています。

さなぎがカブトムシや蝶になるように、草木のように日々の育ちが目にもわかるようには、子どもの成長とは、目に見えるほどの変化をみせませんが、春を思い返すと朝お母さんと別れるごとに泣いていた子、昼になればぐずりだしていたあの子の涙、夏になって同じ涙でもその涙の意味は違ってきているように、じっくりと関わる中で長い目で関わる中で子どもの変化を感じられる、そんな時を迎えています。

YMCAでは「目に見えない育ち」も大切に子どもたちと関わっています。感情、雰囲気、思い、願い、じっくりと変わるもの、ゆっくりと伝わるもの、これらは日々の営み、関わり、言葉や所作を通して育まれるものだと感じています。私たちの保育の根幹はこうした見えないものを信じ互いに確認しあいながら子どもと関わっていくことにあると思います。聖書には目には見えないものを信じられない弱い人間が描かれています。「祈り」という神様への呼びかけを通して救いや見守りが与えられていることを、自分たちがつながりあい愛されていることを、感じることを今月の聖句の箇所を通して示してくれています。

保育園では、子どもたちも保育者も一日のいろんな場面で祈りを持っています。朝みんなが集まったとき、何かが始まる時、食事の前に、そしていろんなことが無事に終わったとき…。祈りを通して、目には見えないつながり、思い、喜びを確認し、生かされていることを感謝して一日を過ごしています。こうした営みの中で一人一人が安心感をもって、愛されている存在であることを感じる事ができていると感じます。この夏も豊かな育ちがあるように祈りながら過ごしていきたいと思います。

7月の聖句 「主よ、わたしたちにも祈りを教えてください。」
＜ルカによる福音書 11章1節＞

7月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	いいきもち	やってみる
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 水・土・砂に触れて遊ぶ。 * 夏の遊びを楽しむ。 * 夏の生活をゆったりと健康に過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> * 遊びたい友達や、やりたいことがはっきりして、遊びが続くようになる。 * 土・砂・水に親しみ、夏の遊びを楽しむ。 * 遊びの中で考えたり試したりする楽しさを体験する。 * 健康に過ごすための生活習慣を身につける。
讚美歌	主イエスのみちを	